



みんなでつなごう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 37 号
令和 8 年 4 月発行
高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート

みなさまへ

桜の花が咲き、新年度を迎えました。生活支援体制整備事業も 12 年目となります。今年度も、高齢者の介護予防・社会参加・生活支援・ネットワークづくりという視点を大切にしながら、地域で無理なくできることを協議体で考えていきましょう。また、市内の協議体同士が連携し、それぞれの活動を高め合いながら、協議体活動全体をさらに盛り上げていきましょう。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和 8 年度 高崎市生活支援体制整備事業目標



① 支え合い活動の普及啓発活動

市全域や地域のイベントでチラシ配布やパネル展示を行い、協議体の活動を多世代の市民に知ってもらう。区長や民生委員の他、第 2 層協議体住民メンバー向けの説明会を実施し、体制整備事業への理解を深める。

② 第 2 層協議体の自立的活動の強化

第 2 層協議体の情報交換会やサポーター間の交流会を実施し、自律的活動の強化を図る。生活支援体制整備事業実施方針や協議体構成員の役割に基づき、目指す地域像に向けた協議を行う。

③ コーディネート機能の強化

コーディネート機能強化の為、有識者による研修会やグループワーキング等を実施する。第 1 層協議体で情報共有を適宜行い、事業推進体制の深化を図る。

④ 支え合い活動創出・継続のための支援

地域支え合いサポーター養成講座を随時開催し、支え合い活動の担い手を増やしていく。ニーズと資源のマッチングを行い、支え合い活動の創出・継続支援をする。

高崎市長寿社会課 事業担当よりメッセージ

日々の取組の積み重ねが、支え合いの輪を少しずつ広げていることを実感しています。

地域の中でできることはそれぞれですが、話し合いを重ねることが大切だと感じています。これからも、一緒に考え、力を合わせながら進めていきたいと思ひます。

今年度もよろしくお願いいたします。

松本（新任係長）、横山（行政 S C）、山田（新任担当）



第 1 層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第 1 層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

第1層SCより

2025年問題が現実のものとなり、2026年を迎えた今、さらなる高齢化が進む中で、地域の支え合いや活動の大切さはますます高まっています。

まずは皆さんが元気で、そして困りごとをお互いさまで支え合える、そんな地域づくりを、住民の方々や行政、あんしんセンター、社協の皆さんとともに頑張っていきたいと思います。「困った時はお互いさま」と自然に声をかけ合える高崎市を目指して、これからも頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

第1層生活支援コーディネーター 目崎 小川

八幡地区

第2回 まち歩き見守り声掛け訓練 (3/13)

声かけ訓練スタート



道中3か所で
ひとり歩き
高齢者と
出会い
声かけ実践



元協議体メンバー
3名がひとり歩き
高齢者役を演じて
くれました。

みんなで活動の様子を振り返り



- 【目的】** 地域の見守り体制の強化と、3サポーターが合同で活動する機会として開催しました。
- 【経緯】** 八幡地区協議体では、令和3年に地域内で発生した行方不明高齢者について、「もっとたくさんの人で探せば早く見つかったかも」という声を受け、第1回目のまち歩き声かけ訓練を開催しました。今回は2回目の開催でもあり、令和7年11月の地域支え合いサポーターフォローアップ講座のアンケートで、「声かけの仕方がわからない」という内容の回答が複数あったことを受け、気になるひとり歩き高齢者への声かけを実践しようと開催に至りました。
- 【様子】** 地域支え合いサポーター・介護予防サポーター・オレンジサポーター・ケアマネジャーとともに実施しました。3か所のポイントで、様子が心配なひとり歩き高齢者（元協議体メンバー）に出会った場面を想定し、声かけから関係者へ連絡するまでを訓練しました。その後、振り返りを行い、訓練の様子をみんなで共有しました。
- 【今後】** 振り返りでは、声を掛けた方、掛けられた方という2つの視点から意見交換を行い、「現在地を電話で伝えるのが難しかった」「ひとりで対応できるか不安」「声を掛けた側から自分の名前を名乗った方がよいということが勉強になった」といった意見が聞かれました。これからも、地域の見守りの担い手を増やしながら、支え合いの輪を広げていきます。

群馬なのはな
地区

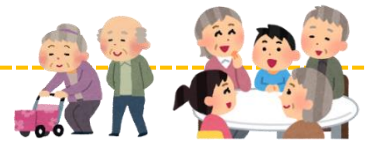
フランシスコの町で居場所づくり



- 【目的】福祉施設と連携し、高齢者が気軽に集える居場所づくりのモデルとして開催しました。
- 【経緯】新しく協議体メンバーとなった方が、児童養護施設フランシスコの町と関わりがあり、「地域に開かれた施設を目指したい」という施設の思いが協議体で共有されました。その後、施設見学や施設の方との意識合わせを行い、チラシを配布して居場所づくりをモデル的に開催しました。
- 【様子】当日は協議体メンバーが中心となって運営し、茶話会をしながら携帯電話の使い方講座を行ったり、参加者の皆さんでポッチャを楽しんだりしました。約 20 名の参加があり、次回の開催を期待する声も聞かれました。
- 【今後】今回の居場所づくりについて協議体で振り返りを行い、課題や工夫点を整理しながら、定期的な開催につなげていきます。

群馬さくら
地区

中泉 4 区のえんがわ紹介



設立から 11 年を迎えた「4 区のえんがわ」の取り組みを紹介します。
お近くの方はぜひ、足を運んでみてください。

4 区のえんがわ（群馬さくら地区）

開催日時：毎月第 1 水曜日、第 3 月曜日
10：00～12：00
開催場所：中泉第 4 区区民センター
代表者：関島さん
連絡先：あんしんセンター関越中央
(☎027-386-2270)



協議体活動が始まって間もなく、当時参加していた区長さんが「自分の地域にも、みんなが集まれる場が必要」と感じ、町内会の役員と話し合い、この居場所を立ち上げました。

そこから地域のみなさんが力を合わせ、11 年間、この居場所を大切にしてきました。

お茶を飲んだり、体操やポッチャを楽しんだりしながら、みなさんが自然に交流できる場となっています。また、その中で見えてきた生活の困りごとに対して、ゴミ出しなど無理のない助け合いも生まれ、やさしい支え合いが地域に広がっています。

居場所は、互いに気にかけて合いながら、それぞれが役割を持ち、誰もが主役になれる大切な場です。笑顔いっぱいのあたたかな空気に包まれ、やさしい時間が流れていました。

これからも、参加されている皆さんが元気に、いきいきと過ごされますように…。





【目的】 個人宅のコミュニティスペースを活用し、高齢者が気軽に集える居場所づくりを進める。

【経緯】 寺尾地区は高低差があるため、高齢者が徒歩で自由に移動することが難しいという課題がありました。月1回、いきいきサロンも開催していましたが、もてなされるだけの場ではなく、高齢者自身が主体的に関われる場が必要ではないかと協議体で検討を重ね、集える場所を探していました。空き家や個人宅の活用を検討する中で、地域の個人宅でカフェスペースを併設している方と出会い、地域に貢献したいという思いが一致したことから、高齢者の集いの場として月1回開放していただけることになりました。

【様子】 オーナーの方がコーヒーを淹れてくださり、参加している方が自由に会話を楽しみ、1時間半があったという間に過ぎました。

【今後】 今後も居場所づくりの活動が継続できるように、オーナーの方とも意見をすり合わせながら活動を進めていきます。

2月

2・3月の第1層協議体の話し合いの内容

＜住民企画会議＞

- ・令和8年度事業計画の説明
※新規計画：第2層協議体住民向け勉強会の開催
→各地区の公民館等で実施予定
- ・意見交換：地区説明用資料の作成やSNS等を活用した周知活動
- ・第1層SC拠点の整備
- ・区長、民生委員の説明会（令和8年度は地区ごとに開催）
- ・各団体へ周知活動
（長寿会連合会・地区社協・地域づくり活動協議会・区長会等）

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・第2層協議体小規模情報交換会の参加者の確認
- ・現在の協議体の課題と他の協議体に聞いてみたいことを情報交換

3月

＜住民企画会議＞

- ・第2層協議体小規模情報交換会振り返り（参加住民メンバー99名）
- 目的：活動創出までのプロセス共有→協議体に情報を持ち帰る。
感想：気づきを持ち帰ることができた。一歩前に進むことができた。
→次回に向けて内容の検討（テーマや地区別、会場の環境等）
- ・令和7年度の振り返り
 - 高齢者の社会参加や介護予防の視点でどれくらいの方が参加できているか確認が必要
 - 元気高齢者へのアプローチや担い手の増加等が大切

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・第2層協議体小規模情報交換会の振り返り
- ・令和7年度の振り返り

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

